

教育委員会会議録（9月定例会）

<u>日 時</u>	平成27年9月29日（火） 午後3時30分から午後4時20分まで	
<u>場 所</u>	教育プラザ ギャラリーB室	
<u>出席委員</u>	委員長 委員長職務代行者 委 員 委 員 教育長	森嶋 鎮一郎 上村 由美 花田 和郎 伊藤 吾子 中山 俊恵
<u>委員以外の出席者</u>	教育部長 総務課長 学校施設課長 学務課長 学務課課長 生涯学習課長 スポーツ振興課長 スポーツ振興課課長 新体育館建設課長 指導課長 郷土博物館副参事 記念図書館長(兼)視聴覚センター所長 教育研究所長 宮田調理場長 総務課課長補佐(兼)庶務係長 総務課課長補佐(兼)計画財務係長 総務課係長(企画員) 総務課主幹 総務課主事	吉成 日出男 清水 透 関根 博之 内山 信弘 矢板 恭介 佐川 勝宣 住谷 玲 吉田 和則 千葉 忠好 川崎 恭子 清水 博之 鈴木 士郎 大沢 靖司 川崎 浩行 中村 大介 酒地 康彦 下村 彰彦 鈴木 由紀恵 宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

2 その他

- (1) 平成 27 年第 3 回市議会定例会について
- (2) 国際理解教育推進事業（英語体験活動）及び中学生海外短期留学支援事業の実施結果について
- (3) 平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (4) 平成 28 年度日立市立幼稚園の園児募集について
- (5) その他
- (6) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時30分

委 員 長

それでは、只今から9月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が3名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 9 号

教育委員会8月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第9号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 そ の 他

(1) 平成27年第3回市議会定例会について

委 員 長

続きまして、その他に移らせていただきます。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長

平成27年第3回市議会定例会について、説明します。
会期は、平成27年9月3日から29日までの27日間です。
まず、一般質問についてですが、9月7日、8日に行われ、10名の議員が登壇されたうち、5名の議員から教育委員会に係る質問がありました。

1人目の今野幸樹議員からは、学校教育現場の状況について、2項目の質問がありました。

まず、子どもたちを取り巻く環境については、3点の質問がありました。

1点目の、本市のいじめの現状といじめ防止に対する取組については、今年度7月末までのいじめの件数と、そのほとんどが、担任や生徒指導主事などの早期介入・支援により既に解消している状況を説明し、いじめ防止の取組としては、早期発見、早期対応を基本に、子どもたちのサインを見落とさないよう、日々の学校生活において、子どもたちを見守り、教育相談や学校生活アンケートを定期的に実施するなど、引き続き、すべての子どもが被害者にも、加害者にも、傍観者にもならない、いじめのない地域づくりに取り組んでいく旨答弁しました。

2点目の、不登校児童・生徒の現状と対応については、今年度7月末の不登校児童・生徒数の状況を説明し、学校の対応として、休みがちな児童・生徒に対して、支援チームを組織し、家庭訪問などを通じて、一人一人に応じた支援を行っていくことや、教育相談員や県派遣のスクールカウンセラーが相談活動や家庭訪問などを行い、本人や家族に対して支援や働き掛けを行い、早期解消に努めている状況を説明の上、未然防止を図るため、「いいとこ発見夢づくり推進事業」等の活用を図っていることを答弁しました。

3点目の、重大と思われる保護者間トラブルの対応については、今年4月に栃木県佐野市で起きた、同じ小学校に子どもが通っている母親2人が、立て続けに自殺をした事件を心配し、質問されたものです。

これに対しては、子ども同士の問題が原因となる保護者間のトラブルを確認した場合、学校や教育委員会も可能な範囲で関わり、解消に努めることとしており、日頃から子どもたちの学校生活を見守り、万が一トラブルが発生した場合には、十分に子どもたちの話を聞いた上で、適切な指導を行い、家庭に対しては十分な説明を行うなど、迅速、丁寧に対応するよう努めていること、また、保護者が学校に気軽に相談できる体制と雰囲気づくりを進め、保護者との信頼関係の構築に努めており、教育相談員の紹介などを行っていることを答弁しました。

次に、教職員を取り巻く環境についてということで、教職員が抱える、大きな不安・ストレス・問題等への対応について、質問がありました。

市が実施したアンケート調査から、教職員の約9割が忙しさを感じている状況を説明し、各学校では、教職員が個人で問題などを抱え込まないように、管理職による定期的な面談や教職員が互いに相談し合うことなどを通して、良好な職場環境・雰囲気の醸成を図っていることや、心理の専門家、カウンセラーなどによる相談などの実施を通じて、教職員が生き生きと安心して、児童生徒に向き合える

環境づくりに努めていく旨を答弁しました。

2人目の伊藤智毅議員からは、教育政策について、2項目の質問がありました。

まず、いじめや不登校等の現状と諸課題については、学校現場におけるいじめ、不登校、教師等の体罰の認知の実態と諸課題、対応、対策及びいじめに係る文科省再調査への対応についての質問でした。

これに対しては、いじめ、不登校に対する学校の対応状況について説明し、特に、岩手県矢巾町で起きたいじめが原因と思われる中学2年生の自殺事件を受けて出された、8月17日付けの文部科学省通知への対応については、初期段階の小さなサインを見逃さずに、早期かつ適切に対応するよう学校に徹底を図るとともに、学校長自らが、進んで子どもたちの動向を見守るよう、改めて伝えたことを説明し、今後とも、学校と連携を図り、子どもたち自身の人権意識を高め、心豊かでたくましく成長できる取組を推進していく旨答弁しました。

また、体罰については、学校長会や教職員向けの体罰等服務規律に係る研修会の開催、校内コンプライアンス推進委員会を主体とした校内研修や指導助言を行い、情報の共有化や迅速な連絡体制を確保するなど、体罰によらない指導の徹底に努めている状況を説明し、体罰が万が一発生した場合には、正確な事実を把握し、情報共有するなど、組織でしっかり対応し、児童・生徒の心のケアなどを最重要事項として、保護者に対しても謝罪や事実の説明などの迅速な対応をもって取り組み、再発防止を図るため、体罰を引き起こす土壌がないか、情報が学校長に報告されているかなど、学校体制の在り方について点検を行くことなどについて、答弁しました。

次に、総合教育会議等、新たな教育政策推進については、3点の質問がありました。

この質問に対しては、総合教育会議は市長が設置するものであることから、横山副市長が答弁しました。

1点目の、総合教育会議の在り方については、法律の趣旨を踏まえた運営を行い、定例の会議のほか、必要に応じて会議を招集し、教育委員の皆様と情報を共有するとともに、様々な視点による意見交換や重要な施策についての協議・調整を進めている旨答弁しました。

2点目の、教育大綱の策定については、日立市総合計画や日立市学校教育振興プランの理念との整合性を図りつつ、策定中の日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる新たな方向性なども踏まえながら、日立市の教育の特長を明確に打ち出して策定していきたい旨答弁しました。

3点目の、新教育長による教育委員会体制については、新制度に

よる教育長に移行した市町村は、全国でも、茨城県内においても2割程度であり、本市においては、日頃から連絡調整などの連携を図っている状況等を説明し、新制度のねらいであります「責任体制の明確化」や「市長部局の関わり」については、特に問題がない旨説明しました。

3人目の高安博明議員からは、「市民運動公園」の魅力づくりについて、2項目の質問がありました。

まず、「日立市池の川さくらアリーナ」の利用促進策について、2点の質問がありました。

1点目の、スポーツ大会やコンサート、イベント等の開催・誘致の考え方については、多目的アリーナとしての機能を最大限に生かし、市民の皆様が集い、楽しみ、また、市外からも人を呼び込み、にぎわいを創出する魅力的な交流拠点施設として、積極的な運営を進めていく旨を答弁しました。

2点目の、平日の日中における稼働率の向上については、現在進めているスポーツクラブ事業のさらなる拡充と、多様な市民ニーズに対応できる運営方法の確立と年間を通じた集客の確保に努めていく旨答弁しました。

次に、「市民運動公園」の一体化と安全施策については、池の川さくらアリーナ、野球場、テニスコートを結ぶペDESTリアンデッキの整備について、質問がありました。

これについては、ペDESTリアンデッキの建設は、有効な施策ではありますが、建設の効果や代替策の有無、財源確保の方策など、検討すべき課題も多く、今後のテニスコート北側臨時駐車場の整備も踏まえた上で、市民運動公園内の動線やイベント開催時の歩行者や車両の誘導など、来場された方々が安全、かつスムーズに移動できるような方策について検討する旨を答弁しました。

4人目の蛭田三雄議員からは、日立市学校教育振興プランの実行について、2項目の質問がありました。

まず、教職員とボランティアとの連携の進捗状況及び連携を進めるに当たっての課題について、質問がありました。

これに対しては、日立市学校教育振興プランの「いいとこ発見夢づくり」事業の推進状況を説明した上で、学校が地域や外部の支援者とさらなる連携を進めるためには、地域ボランティア人材の確保と、それらの人材が活躍される仕組みづくりが課題であり、地域ボランティアの方々の力を得て、よりきめ細かで幅広い活動を進めるとともに、「すべては子どもたちのために」の思いを共有し、取り組んでいく旨を答弁しました。

次に、学校運営協議会の検討状況については、国の状況や、教育委員会の取組を説明の上、学校、地域コミュニティ、教育委員会などで構成する検討委員会を設置し、様々な観点から検討を進める旨

を答弁しました。

5人目の添田絹代議員からは、子育て支援策についてということで、学校行事の際の託児を支援する取組について、提案・質問がありました。

託児を必要とする保護者の皆様のニーズを把握した上、学校やPTA、保健福祉部門と連携を図りながら、利用できる子育て支援事業の情報提供や、学校施設内での託児の支援策について、検討する旨を答弁しました。

続いて、教育福祉委員会についてです。

議案については、本日、全て原案どおり可決しました。

報告については、例年同様に、日立市奨学金貸付基金の運用状況について報告し、議員の皆様から御理解をいただきました。

請願等については、2点ありました。

1点目の「県立学校の存続と高校の少人数学級実現を求める意見書提出」に関する請願については、公共施設マネジメント等を勘案の上、不採択となりました。

2点目の教育予算の拡充を求める請願については、委員会で採択され、本日、本会議で可決されました。

また、総務部所管の案件ではありますが、本日、全会一致をもちまして、上村委員の教育委員再任の議案が可決されましたので、報告します。

委 員 質問された今野議員や伊藤議員から、何か要望などはありましたか。

教 育 部 長 今野議員からは、家庭・地域と連携し、いじめのない地域づくりに取り組んでいただきたいということや、必要に応じて国の制度を活用できるような備えをしていただきたい等の意見がありました。

また、教職員を取り巻く環境については、学校現場での様々なストレスに対する支援づくりを、教育委員会と学校が連携を図って進めてほしいという意見がありました。

伊藤議員からは、一人一人の子どもたちのサインを見逃さないように、日頃から学校現場での対応、保護者に対する説明について、よく取り組んでほしいという意見がありました。

(2) 国際理解教育推進事業（英語体験活動）及び中学生海外短期留学支援事業の実施結果について

委 員 長 それでは次に、その他（2）について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 国際理解教育推進事業（英語体験活動）及び中学生海外短期留学支援事業の実施結果について、説明します。

まず、今年度の新規事業である英語体験活動についてです。

事業には、スタートコース、チャレンジコース、ステップアップコースの3コースがあります。

スタートコースは、小学6年生72名が参加し、ホリゾンかみねと久慈川日立南交流センターで行いました。

市で雇用するALTや業務委託による派遣ALTのほか、ボランティアの日立第二高等学校生徒8名、茨城キリスト教大学インターン生6名を指導員とし、それぞれを児童10人程度のグループに配置しました。

このコースでは、視覚的情報や場面設定のある実践的なゲームを数多く行ったことにより、積極的にコミュニケーション活動に取り組む態度が多くみられるようになったという成果があった半面、活動場所が交通手段の面で不便である、3時間という研修時間が長いなどの課題がありました。

チャレンジコースは、中学生41名が参加し、たかはら自然塾で実施した1泊2日のイングリッシュキャンプを含む全10回の英語研修を行いました。

スタートコースと同様に、英語に対する意欲を高めることはできましたが、実施時間や活動場所などを含め、より話す力を伸ばすための効果的な取組となるように、今後の実施内容について検討していきます。

ステップアップコースでは、9月20日から9月22日まで、福島県にある宿泊型英語研修施設であるブリティッシュヒルズにおいて、2泊3日の英語研修を行いました。

日立市の魅力や日立市の創生案を英語でスピーチするなど、英語力を向上させることができました。

また、10月3日には、成果発表として、教育プラザにおいて参加者によるスピーチを行います。

次に、中学生海外短期留学支援事業についてです。

7月16日から8月7日までの23日間、ニュージーランドのタウランガ市に短期留学した中学生4名に対し、チャレンジコースと合同で研修を実施するなど、教育的な支援を行いました。

委 員 スタートコースに参加しましたが、やはり、3時間という時間は少し長いと感じました。

ただ、参加者の多くは積極的に取り組んでいたと思います。

指 導 課 長 送迎がないと参加が難しいという意見や、実施時間が長いという

意見を踏まえ、来年度の実施方法について検討していきたいと思
います。

(3) 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

委員 長 それでは次に、その他(3)について、指導課長から説明をお願
いします。

指導 課 長 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について、説明しま
す。

この調査の目的は、主に2点あります。

1点目は、子どもたちの学習状況を把握し、一人一人の子どもた
ちの学力を上げることにつなげるためです。

2点目は、学習環境を整備する側として、学習指導の充実のため
の施策について、成果と課題を検証するためです。

本市では、平成26年度から、調査結果の公表に対する方針につ
いて、学校関係者や保護者の意見を踏まえ、教育委員会で協議し、
決定しているところです。

その中で、学力調査の平均正答率は公表しないこととし、学力調
査の結果分析により把握した成果、課題、改善策等や、学習状況調
査、学校質問紙の結果は公表することとしています。

今回の学力調査では、例年の国語A、B、算数又は数学のA、B
に加え、理科の調査を実施しました。

小学校では、算数B以外の教科について、全国平均を上回ってい
ます。

中学校では、数学A以外の教科について、全国平均を上回ってい
ます。また、数学Aについては、全国平均を下回っているものの、
昨年度よりその差は縮まっているため、今後も改善を図っていきた
いと思います。

学習状況調査については、「授業がよく分かるか」、「学校に行く
のは楽しいと思うか」などの生活習慣や学習環境に関する質問に対
し回答するもので、特に、日立市の合言葉である「いいとこ発見 夢
づくり」に関連する「将来の夢や目標を持っているか」という質問
に対しては、多くの児童生徒が「当てはまる」と回答し、全国の平
均を上回っています。

今後は、今回の調査結果を踏まえ、結果が良い学校の取組などの
情報を共有し、学校の授業改善を図っていききたいと思います。

委 員 学力調査の結果は、個人の問題もあり、そこまで重要視するもの
でもないと感じます。それよりも、学習状況調査の結果や、学校質

問紙の結果の方が重要だと思います。

「将来の夢や目標を持っているか」という質問の回答が全国を上回っているということは、「いいとこ発見 夢づくり」という合言葉が浸透してきたと言えるのではないのでしょうか。

また、文部科学省が公表している調査結果を見ると、スマートフォンの使用時間が長いほど、正答率が低いという傾向があります。また、家庭で本や新聞を読むように親が勧めている子どもほど、正答率が高いという結果が出ています。

そういった点について、本市の状況を分析し、各学校や家庭に分かりやすくお知らせすることも大事だと思います。

指導課長 各学校からも、公表できる調査結果について、ホームページや広報誌等でお知らせしていますが、より効果的に公表できるよう、検討していきたいと思います。

委員 家庭にお知らせする際には、教員や行政の専門用語を使用せずに、見やすく、分かりやすい文章となるように心掛けていただければと思います。

委員 学習状況調査は、90問の質問に回答するということですが、回答時間はどの程度かかりますか。

指導課長 回答時間として、20分を確保しています。
多くの児童生徒は、回答に時間一杯までかかるようです。

(4) 平成28年度日立市立幼稚園の園児募集について

委員長 それでは次に、その他(4)について、子ども施設課長から説明をお願いします。

子ども施設課長 平成28年度日立市立幼稚園の園児募集について、説明します。
まず、募集人数についてですが、例年同様、各園とも4歳児、5歳児の募集を行い、5歳児については、現在4歳児の定員に満たない人数分を募集します。

なお、利用定員は、全園で660名となっています。

入園願書は、市立の各幼稚園及び認定こども園で配布しまして、平成27年11月4日(水)と5日(木)の2日間受け付けることとしています。

保育料についてですが、今年度から、子ども子育て支援新制度が施行されることに伴い、保護者の所得に応じた保育料を設定し、公

立・私立園に関わらず、同額とすることとされています。

しかし、公立園については、保育料が急激に上昇することとなることから、それらを緩和するため、経過措置を設けて対応することとしており、平成27年度入園児が卒園するまでは、従来の保育料の額を継続し、その後、段階的に保育料を引き上げ、平成31年度に私立園と同額とする予定としています。

そのため、平成28年度に入園する園児については、平成28年度の月額保育料は、生活保護世帯、非課税世帯が無料、課税世帯が6,800円となり、平成29年度の月額保育料は、生活保護世帯、非課税世帯が無料、課税世帯が、所得に応じ7,600円から10,800円までの額となります。

知的障害児・情緒障害児学級幼稚部の入級については、入級希望者に対し、別に応募案内を行い、指導形態が通級となることや入級の手続き等について説明します。

委 員 昨年募集をしたときには、募集人員を上回る園はなく、逆に応募者が少ない園が多かったと記憶しています。
少ない園はどのぐらいありましたか。

子ども施設課長 今年度5月1日現在、4歳児、5歳児とも在園児数が10名に満たない園は3園で、会瀬幼稚園が、4歳児7名、5歳児9名、根道丘幼稚園が、4歳児0名、5歳児9名、中小路幼稚園が、4歳児3名、5歳児5名です。

委 員 園児数が少ないと、幼稚園として機能するかが心配です。

子ども施設課長 幼児施設の在り方検討会では、幼稚園として機能させるためには、おおむね10名以上での集団活動が必要であると言われていました。
今年度の入園状況等を見て、今後について検討していきたいと思っています。

委 員 みやた認定こども園は、昨年度募集をした際、抽選となりましたか。

子ども施設課長 抽選にはなりませんでした。
今年度5月1日現在、みやた認定こども園には、4歳児が18名、5歳児が10名在園しています。
定員は、4歳児、5歳児とも20名となります。

委 員 今年度、抽選になりそうな園はありますか。

子ども施設課長 昨年度は、高鈴幼稚園の4歳児以外は、募集定員を下回りました。

(5) その他

委員長 それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

生涯学習課長 百年塾フェスタ2015の開催について、御案内します。

「遊んで、学んで、日立の“いいね”」をテーマとし、10月4日(日)の午前10時から午後4時まで、シビックセンター等で開催します。

今回のフェスタの特徴となる催しは、「住みたいまち日立写真展」と、「まちへのラブレター国際絵画展」です。

特に、「まちへのラブレター国際絵画展」については、市内の小中学生が、国際親善都市であるタウランガ市の方々知ってほしい日立市の良さや魅力などを描いた絵画展を実施します。また、タウランガ市の子どもたちからも作品が届いていますので、併せて展示します。

展示期間は、9月30日(水)から10月4日(日)までとなっています。

その他、コミュニティの“いいね”ポスター展、ジオパークにまつわる展示、模擬店の出店など、盛りだくさんの内容となっています。

スポーツ振興課長 スポ・レクフェア2015の開催について、御案内します。

今年は、「e汗e友e笑顔 スポーツの力」をテーマとし、10月11日(日)10時から、市民運動公園野球場で開催します。

クライミングや10人11脚などの例年実施している種目のほか、アクアボールやフューチャーゴールフリップなど、新たなものも実施します。

また、スポーツ振興課と市健康づくり推進課がタイアップし、体力テストと健康チェックコーナーを実施する予定です。

指導課長 児童生徒の表彰等について、報告します。

まず、平成27年度いばらき理科教育推進事業「科学の甲子園ジュニア茨城県大会」についてです。

科学の甲子園は、中学校1、2年生6人でチームを作り、理科・数学などの複数分野に渡る筆記競技と実技競技に取り組み、チーム

ごとに総合点を競うものです。

日立市では、久慈中学校が県大会に出場し、県教育長賞を受賞しました。

また、学校賞として、助川中学校、中里中学校、河原子中学校が、個人賞として、久慈中学校から2名、駒王中学校、台原中学校から各1名が受賞しました。

次に、第21回東関東吹奏楽コンクールについてです。

日立市からは、中学校の部A部門に多賀中学校が参加し、銀賞を受賞しました。

また、東関東吹奏楽コンクールの予選会に当たる第55回茨城県吹奏楽コンクールでは、中学校の部A部門において、多賀中学校が金賞を、大久保中学校、滑川中学校、泉丘中学校が銀賞を受賞し、中学校の部B部門において、助川中学校が銀賞を、豊浦中学校、十王中学校が銅賞を受賞しました。

(6) 次回の教育委員会の日程について

委員長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総務課長 平成27年10月23日、金曜日に、日立市教育プラザで午後3時から開会予定です。

4 閉 会 午後4時20分

委員長 それでは、以上をもちまして、教育委員会9月定例会を終了します。